

記者会見資料
令和元年 11 月 28 日

令和 2 年 2 月までの行事予定について

期 日	行 事	会 場 等	備 考
11 月 30 日(土)	川崎フロンターレ 「陸前高田ランド冬」	等々力陸上競技場	観光交流課
12 月 1 日(日) 8:30～	「剣豪千葉周作」顕彰第 21 回少年剣道錬成大会	市総合交流センター 夢アリーナたかた	スポーツ交流推進室
7 日(土) ～14 日(土)	米国クレセントシティ市 訪問(市訪問団)	米国クレセントシティ市	政策推進室
8 日(日) 9:30～	気仙地区婦人消防連絡協議会 指導者研修会	市コミュニティホール	消防本部
12 日(木) 14:00～	持続可能な開発目標(SDGs) 推進に係る陸前高田市と法政大学 の協力に関する協定の締結	法政大学九段校舎	陸前高田市 法政大学
22 日(日) 8:30～	スポーツ少年団交流スポー ツフェスティバル	市総合交流センター 夢アリーナたかた	スポーツ交流推進室
22 日(日) 15:30～	防災マイスター養成講座の 閉講式	市コミュニティホール	防災局
27 日(金) 16:00～	仕事納め式	陸前高田市役所	
令和 2 年 1 月 5 日(日) 9:00～	消防出初式	高田第一中学校	消防本部
6 日(月) 8:40～	仕事始め式	陸前高田市役所	
6 日(月) 10:30～	新年交賀会	キャピタルホテル 1000	主催団体幹事: 陸前高田商工会
12 日(日) 10:00～	成人式	市コミュニティホール	管理課

東日本大震災被災地・陸前高田市復興支援イベントについて

- 1 イベント名 川崎フロンターレ「陸前高田ランド冬」
- 2 期 日 令和元年 11 月 30 日 (土)
- 3 時 間 第 1 部 午前 9 時 30 分から午後 1 時 30 分まで
午後 2 時～ 川崎フロンターレ対横浜 F・マリノス戦
第 2 部 試合終了後から午後 6 時まで
- 4 会 場 川崎市営等々力陸上競技場 場外イベント広場フロンパーク等
- 5 内 容
 - ・平成 27 年 9 月 11 日に締結された「高田・フロンターレスマイルシップ友好協定」に基づいた交流事業「陸前高田ランド」の開催 (毎年春・冬の 2 回開催)
 - ・市内の飲食店業者、生産者等における出店 (15 店舗予定) 餅まき等
 - ・ルヴァンカップ優勝記念品「たかたのゆめ 100 kg」の贈呈



11-12月

場所：等々力陸上競技場

Fのホームゲーム イベントスケジュール

Kawasaki Frontale Home Game Event Schedule 2019

2019キャッチフレーズ



11.30 第33節 vs. 横浜F・マリノス

エキサイトマッチ

14:00 KICK OFF
等々力陸上競技場

陸前高田ランド

冬

TAKATA FRONTALE SMILESHIP



開演時間 9:30~13:30
会場 等々力陸上競技場「フロンパーク」
[売場案内]

開演時間 試合終了後~18:00 (予定)
会場 メインスタンド前広場
[売場案内]

居酒屋 膳

ホタテ焼き 600円

ひころいちファーム

朝田米粉パスタ 500円

大和田家のかき

蒸しガキ
かきのあじい物 各500円

神田葡萄園

リアススーパー
100%ジュース 400円

ワイン ジュース

わいわい

ホヤの天ぷら 500円

なかのや

ダルうさぎ×フロンターレ
コラボボールペン 500円

なかのや×フロンターレ
コラボタオルマフラー 2,000円

陸前高田
地域振興

ご賞品送料 200円~

来場予定!

特別企画
マスコットキャラクター
たかたの
ゆめちゃん

Frontale

川崎フロンターレ後援会

会員募集中

2020シーズン

入会特典

- オリジナル タオル マフラー
- グッズ 割引
- 会報誌
- 会員限定 イベント
- 前売チケット 先行・割引

お問い合わせ ☎ 0570-000-565 川崎フロンターレ後援会 🔍 検索

記者会見資料
令和元年 11 月 28 日（木）
スポーツ交流推進室
（総合交流センター22-8448）

「剣豪千葉周作」顕彰第 21 回少年剣道錬成大会について

<説明文>

この大会は、本市が生誕地とされている剣豪千葉周作の業績を永く顕彰し、剣道の振興を通じて青少年の健全育成と体育文化の向上を図ると共に地域の活性化に資することを目的に開催するものであります。

東日本大震災により市民体育館が流失し大会を中断しておりましたが、平成 25 年に復興大会とし復活し、また昨年は「夢アリーナたかた」を大会会場に、第 20 回大会を開催しました。

今回第 21 回大会においても、関東圏や東北各県から強豪チームを招き、総勢 24 チームが集い、少年少女剣士が熱戦を繰り広げます。

記

- 1 日 時 令和元年 12 月 1 日（日）
- 2 会 場 陸前高田市総合交流センター「夢アリーナたかた」
- 3 大会内容 別紙「開催要項」のとおり

「剣豪千葉周作」顕彰第21回少年剣道錬成大会開催要項

- 1 目的 剣豪千葉周作の生誕地である本市において、その業績を永く顕彰し、剣道の振興を通じて青少年の健全育成と体育文化の向上を図ると共に地域の活性化に資することを目的とする。
- 2 主催 剣豪千葉周作顕彰推進委員会
- 3 共催 陸前高田市、岩手県剣道連盟
- 4 主管 陸前高田剣道協会
- 5 後援 陸前高田市体育協会、陸前高田市観光物産協会、陸前高田商工会、岩手日報社、東海新報社、テレビ岩手、めんこいテレビ、IBC 岩手放送、NHK 盛岡放送局、岩手朝日テレビ
- 6 期日 令和元年12月1日(日)
- 7 会場 陸前高田市総合交流センター（陸前高田市高田町字太田5番地）
- 8 試合規程 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則並びに細則に準じる。
- 9 試合方法
 - (1) 小学生による団体戦（男女混合可）とする。
 - (2) 8ブロックによる予選リーグ戦を行い、各ブロック上位2チームによる決勝トーナメント戦を行う。
 - (3) 試合時間は3分とする。なお、勝敗が決しない場合は引き分けとする。
 - (4) 同点同本数の場合は、2分1本勝負で代表者戦を行う。勝敗が決しない場合は、2分ごとに区切って延長戦を行う。
 - (5) その他詳細は、監督会議において決定する。
- 10 参加
 - (1) 参加基準
 - ①各チーム＝監督1名、選手5名、補員2名の8名以内とする。
 - ②5人未満でのチーム編成の場合は、欠員箇所を留意する。
※4人編成の場合は次鋒、3人編成の場合は次鋒、副将を欠員とする。
 - ③選手変更は、補員から行う。
 - (2) 参加チーム 合計24チーム
 - ①招待チーム（8チーム）
 - ◇ 前回大会優勝、準優勝チーム
晨武館（岩手県花巻市）、勝平道場（秋田県秋田市）の2チーム
 - ◇ 関東圏の著名な2チーム
※優勝チームを含む著名なチームを選考する。
 - ◇ 青森県、宮城県、山形県、福島県から4チーム
 - ②選抜チーム（14チーム）
 - ◇ 岩手県ベスト8（岩手県連盟推薦）から招待チームを除く7チーム
 - ◇ 岩手・宮城沿岸チームの7チーム
 - ③地元チーム（2チーム） 陸前高田市・大船渡市より。
- 11 参加料 1チームにつき5,000円

12 審判員 岩手県剣道連盟派遣審判員及び参加チームの協力審判員で6段以上とする。

13 表彰 優勝、準優勝、第3位までを表彰する。

14 参加申込

(1) 申込先 〒029-2205

岩手県陸前高田市高田町字太田5番地

陸前高田市総合交流センター「夢アリーナたかた」内

剣豪千葉周作顕彰推進委員会事務局

TEL 0192-22-8448

FAX 0192-22-8447

(2) 申込方法 別紙、申込書を送付すること。(オーダー表の提出は不要)

(3) 申込期限 令和元年10月15日(火)

(4) 参加料振込先 岩手銀行高田支店 普通口座2061458

剣豪千葉周作顕彰推進委員会 会長 金野廣悦

15 日程

7:00～ 7:50 受付

7:50～ 8:10 監督、審判会議

8:30～ 9:10 開会式 公開演武

9:15～ 9:45 錬成会(切り返し、打ち込み稽古)

10:00～14:50 試合

14:50～15:10 閉会式

16 宿泊

(1) 審判員の宿泊は主催者で手配する。※協力審判員を除く。

(2) 宿泊先は各チームで手配すること。(希望により斡旋する。)

(3) 招待チームには、宿泊費として一人につき4,000円(上限40,000円)、交通費として関東圏1チーム50,000円、東北1チーム20,000円を助成する。

なお、宿泊費の助成対象は、「選手、監督、協力審判員、申込責任者」のみを対象とする。

17 その他

(1) 各チームとも紅白の目印を用意する。

(2) 大会中の疾病、負傷等の応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は必ず健康保険証を持参すること。

(3) 昼食を希望するチームに弁当を斡旋する。希望者は、参加申込書に記入し、代金は当日支払うこと。希望数量に変更がある場合は、11月27日(水)までに連絡をすること。その後の変更はできないので注意すること。なお、協力審判員の昼食は主催者側で用意する。

(4) 大会申込みにて取得する個人情報、大会に関する事務連絡及びプログラム等、大会の運営に関することに利用し、他の目的には使用しない。

米国クレセントシティ市訪問事業について

<説明文>

県立高田高等学校の実習船「かもめ」が東日本大震災により流失し、米国クレセントシティ市の海岸に流れ着いたことを機に相互の訪問が行われ、平成30年4月に姉妹都市となった同市より、アメリカ国務省の補助金を活用し、「教育関係者」「高校生」及び「女性の社会進出や活躍を推進する方または関心のある方」を招待し、研修会等を通じて相互の理解をより深めたい旨の申出を頂いたことから、訪問団を結成し実施するもの。

記

- 1 訪問日程
令和元年12月7日(土)日本発～12月14日(土)日本着
- 2 訪問先
米国カリフォルニア州デルノーテ郡クレセントシティ市
- 3 参加者数
35名

米国クレセントシティ市訪問事業実施要項

1 趣旨

県立高田高等学校の実習船「かもめ」が東日本大震災により流失し、米国クレセントシティ市の海岸に流れ着いたことを機に相互の訪問が行われ、平成30年4月に姉妹都市となった同市より、アメリカ国務省の補助金を活用し、「教育関係者」「高校生」及び「女性の社会進出や活躍を推進する方または関心のある方」を招待し、研修会等を通じて相互の理解をより深めたい旨の申出を頂いたことから、訪問団を結成し実施するもの。

2 名称

米国クレセントシティ市訪問事業

3 訪問日程

令和元年12月7日（土）日本発～12月14日（土）日本着

4 訪問先

米国カルフォルニア州デルノーテ郡クレセントシティ市

5 対象者

- (1) 教育関係者 10名
- (2) 高校生 5名
- (3) 女性の社会進出や活躍を推進する方または関心のある方 13名
- (4) 市職員（事務局含む） 7名

6 研修内容（予定）

- (1) 教育関係者：デルノーテ郡が推進する「多層支援システム（MTSS）」及び「ポジティブな行動介入と支援（PBIS）」について
- (2) 女性の社会進出や活躍を推進する方または関心のある方：政府、ビジネス及びヘルスケア分野の委員等との意見交換

7 旅行費用

- (1) 往復航空運賃、米国内における交通費及び宿泊費については、米国国務省から補助される。
- (2) 日本国内の移動にかかる旅費、食費及び海外旅行保険等については、自己負担（10万円程度）とする。
- (3) 最終的な旅行費用に係る自己負担額は、米国からの補助額が確定次第、決定となる。

8 主催

米国カルフォルニア州デルノーテ郡クレセントシティ市

9 共催

陸前高田市

10 結団式

- (1) 日時 令和元年11月29日（金）午後7時から
- (2) 会場 市役所4号棟第6会議室

記者会見資料

令和元年11月28日(木)

消防本部予防係(内線702)

気仙地区婦人消防連絡協議会指導者研修会について

<説明文>

気仙地区の婦人防火クラブ、婦人消防協力隊が一堂に会し、火災予防と防火意識の向上を図りながら、地域防災に寄与する会員の団結を強固にすることを目的とし、指導者研修会を開催する。

記

- 1 日 時 令和元年12月8日(日)
9時30分から12時00分まで

- 2 会 場 陸前高田市コミュニティホール

令和元年度 気仙地区婦人消防連絡協議会指導者研修会

- 1 日 時 令和元年 12 月 8 日（日）午前 9 時 30 分から 12 時 00 分
- 2 場 所 陸前高田市コミュニティホール
- 3 講 師 漫談師 福々亭 ナミ子 氏
- 4 参加人数（見込）

	大船渡市	60名	陸前高田市	75名	
	住田町	40名			<u>計 175名</u>
- 5 来 賓

祝辞◎	陸前高田市長		戸羽	太	様
祝辞◎	陸前高田市消防団長		河野	吉昭	様
◎	陸前高田市消防本部消防長		戸羽	進	様
◎	大船渡地区消防組合消防長		橋本	洋治	様
◎	顧 問		岡本	育子	様
◎	顧 問		村上	俊子	様
◎	顧 問		紀室	冴子	様
◎	顧 問		石橋	祥子	様

持続可能な開発目標(SDGs)推進に係る陸前高田市と法政大学の
協力に関する協定の締結について

<説明文>

2019年7月にSDGs未来都市に選定され、「ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり」という合言葉のもと、SDGsの達成に向けた様々な施策に取り組んでいる陸前高田市と、2018年12月に「法政大学におけるSDGsへの取り組みに関する総長ステートメント」を発表し、様々なパートナーと連携しながら、SDGs達成を支える知識と課題解決策の社会への提供、SDGsの達成に取り組む人材の育成を行っている法政大学とが連携し、SDGsの社会実装化を推進することを目的に協定を締結するもの。

記

- 1 日時 2019年12月12日(木) 14:00～
- 2 場所 法政大学九段校舎10階会議室(東京都千代田区富士見2-17-1)
- 3 署名者 陸前高田市 市長 戸羽 太
法政大学総長 田中 優子

法政大学と陸前高田市が 持続可能な開発目標(SDGs)推進に係る 協定を締結

法政大学（東京都千代田区、総長：田中 優子）と岩手県陸前高田市（市長：戸羽 太）は、このたび SDGs の推進を目的とした協定を締結します。つきましては 2019 年 12 月 12 日（木）に法政大学市ヶ谷キャンパスにて締結式を開催します。

法政大学は、2018 年 12 月に「法政大学における SDGs への取り組みに関する総長ステートメント」を発表し、様々なパートナーと連携しながら、SDGs 達成を支える知識と課題解決策の社会への提供、SDGs の達成に取り組む人材の育成を行っています。

このたび、2019 年 7 月に SDGs 未来都市に選定され、「ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり」という合言葉のもと、SDGs の達成に向けた様々な施策に取り組んでいる SDGs 陸前高田市と連携し、SDGs の社会実装化を推進します。

なお、今後具体的な取り組みを進めていくためのキックオフとして、締結式終了後、戸羽市長と法政大学学生による対話フォーラムを開催します。

【締結式概要】※取材をご希望の場合は、予め下記お問合せ先まで必ずご連絡ください。

■日 時：2019 年 12 月 12 日（木）14:00～

■場 所：法政大学九段校舎 10 階会議室（東京都千代田区富士見 2-17-1）

■署名者：法政大学総長 田中 優子
陸前高田市長 戸羽 太

戸羽市長と法政大学学生による対話フォーラム（15:00～16:00 大内山校舎 Y606）

以上

【本件に関するお問合せ および 締結式ご取材申込（12月11日（12:00）まで）】

法政大学総長室付教学企画室（担当：田中）

TEL 03-3264-9930 メール kyogaku@hosei.ac.jp

陸前高田市政策推進室 政策広報係（担当：佐山）

記者会見資料

令和元年 11 月 28 日（木）

スポーツ交流推進室

（総合交流センター22-8448）

スポーツ少年団交流スポーツフェスティバルについて

青少年の健全育成の一助とすることを目的として、毎年開催する市内のスポーツ少年団相互の交流と親睦を図るイベントです。

スポーツ少年団対抗で行われ、綱引き競技は第 29 回目、長縄跳び競技は第 8 回目となります。

記

- 1 日 時 令和元年 12 月 22 日（日）
- 2 会 場 陸前高田市総合交流センター 夢アリーナたかた
- 3 開 会 式 午前 8 時 30 分より
- 4 大会内容 別紙「開催要項」のとおり

令和元年度スポーツ少年団交流スポーツフェスティバル開催要項

(第29回スポーツ少年団交流綱引き競技 第8回長縄跳び競技)

1 目 的

健康・体力づくり実践活動として、市内スポーツ少年団相互の交流と親睦を図りながら、青少年の健全育成の一助とする。

2 主 催

陸前高田市 陸前高田市スポーツ少年団本部 陸前高田市スポーツ推進委員協議会

3 期 日

令和元年12月22日(日)

4 会 場

陸前高田市総合交流センター(多目的ホール)

5 参加資格

令和元年度において、日本スポーツ少年団に登録している市内小学校スポーツ少年団員とする。ただし、現在未登録であるがスポーツ少年団で活動している団員も可とする。

6 競技種目

- ・綱引き競技
- ・長縄跳び競技

7 競技方法

- (1) 第29回綱引き競技の実施要領及び競技規則による。
- (2) 第8回長縄跳び競技の実施要領による。

8 日 程

受付 7時30分
開会式 8時30分
閉会式 11時30分(予定)

9 チーム編成

(1) 綱引き競技

チーム編成は次のとおりとする。

- ① 監督 1名(成人であること)
- ② 補助員 2名(成人であること)

※複数チームを申込み団体は、チームごとに補助員を付けること。

- ③ 選手 8名
- ④ 出場選手登録 競技は8名の選手によって対戦するが、1チーム10名まで登録することができる。

(2) 長縄跳び競技

チーム編成は次のとおりとする。※綱引きのチームそのままで行う。

- ① 監督 1名（成人であること）
- ② 補助員 2名（成人であること）
- ③ 選手 10名まで（跳ぶ人数）
- ④ 出場選手登録 1チーム10名まで登録することができる。

10 服装

- (1) 運動に適した服装とする。
- (2) 靴は、屋内用シューズを着用し、外履・素足での参加は禁止とする。

11 表彰

第3位までを入賞とし、賞状を授与する。

（第1位のみ体育交流施設の減免（無料使用）を行う。）

12 参加申込

別紙の参加申込書を令和元年12月3日（火）午後5時までに、陸前高田市地域振興部スポーツ交流推進室（夢アリーナたかた）に提出すること。

（電話22-8448・FAX22-8447）

不参加の場合も必ず連絡をしてください。

13 代表者会議

日時：令和元年12月10日（火） 午後7時から

場所：陸前高田市総合交流センター（夢アリーナたかた） フィットネスルーム

※代表者会議に出席しないチームは出場を認めないので、必ず出席すること。（代理出席可）・抽選があります。

14 その他

- (1) 傷害保険は、各団体加入保険での対応とする。
- (2) メンバーの変更は、当日の受付までとする。
- (3) 競技に生じた異議は、監督がその試合の主審に口頭で申し出ること。
- (4) チーム内の男子、女子の人数は制限しない。（10名以内であれば組み合わせ可）
- (5) 応援は、観客席で行うこと。
- (6) 昼食は、多目的ホール2階観覧席でとること。

記者会見資料

令和元年 11 月 28 日（木）

防災局防災課（内線 604）

令和元年度陸前高田市防災マイスター養成講座の閉講式について

<説明文>

今年5月より、防災に関する知識や技術を習得し、地域における防災リーダーとして活躍できる人材「陸前高田市防災マイスター」を養成する講座を行っており、この度、一定単位以上の講座を受講した者を対象に、市長より認定証を授与する閉講式を開催するもの。

記

1 日 時 令和元年 12 月 22 日（日）午後 3 時 30 分～

2 会 場 陸前高田市コミュニティホール大会議室

消防出初式について

<説明文>

令和2年の年頭にあたり、消防職団員が一堂に会し、厳正な規律と礼節を重んずる精神の高揚と団結を図り、郷土の防災に寄与する心構えを新たにすることを目的とし、消防出初式を開催する。

記

1 日 時 令和2年1月5日（日）

2 会 場 高田第一中学校体育館

3 市内行進及び観閲

消防防災センターを出発し鳴石交差点を經由し、鵜浦医院前で観閲を行い、高田第一中学校体育館まで行進する。

令和2年陸前高田市消防出初式次第（案）

日 時 令和2年1月5日（日）

場 所 陸前高田市立高田第一中学校体育館

- | | | | |
|---|--------------|---|----------|
| 1 | サイレン吹鳴 | | 午前 8時00分 |
| 2 | 観閲、市内行進 | 観閲（鵜浦医院向い） | 午前 9時00分 |
| | | 市内行進（消防防災センター～鳴石団地入口交差点
～高田第一中学校体育館） | |
| 3 | 部隊入場 | | 午前 9時40分 |
| | (1) 集 合 | (各中隊長から副指揮者に人員、車両報告) | |
| | (2) 団長に敬礼 | | |
| | (3) 人員、車両報告 | (副指揮者から総指揮者) | |
| | (4) 団長訓示 | | |
| | (5) 団旗に敬礼 | 「団旗にかしら一中」 | |
| 4 | 来賓登壇 | | |
| 5 | 統監臨場 | | |
| 6 | 式 典 | | 午前10時00分 |
| | (1) 開式の辞 | (副指揮者) | |
| | (2) 国旗に敬礼 | 「国旗にかしら一中」 | |
| | (3) 黙 禱 | | |
| | (4) 統監に敬礼 | | |
| | (5) 人員、車両報告 | (消防長、団長) | |
| | (6) 統監式辞 | | |
| | (7) 消防長告辞 | | |
| | (8) 表 彰 | (団長特別表彰) | |
| | (9) 来賓祝辞 | | |
| | (10) 来賓紹介 | | |
| | (11) メッセージ紹介 | (日本消防協会、岩手県消防協会) | |
| | (12) 統監に敬礼 | | |
| | (13) 消防長に敬礼 | | |
| | (14) 国旗に敬礼 | 「国旗にかしら一中」 | |
| | (15) 閉式の辞 | (大隊長) | |
| 7 | 来賓退席 | | |
| 8 | 部隊解散 | | 午前11時00分 |
| | (1) 団旗に敬礼 | 「団旗にかしら一中」 | |
| | (2) 団長に敬礼 | (副指揮者) | |
| | (3) 副指揮者に敬礼 | (大隊長) | |
| | (4) 大隊長に敬礼 | (各中隊長) | |
| | (5) 部隊解散 | (各中隊長の指示) | |

成人式について

<説明文>

市では、新成人の輝かしい門出を祝い、新たな自覚をもってこれからの人生を飛躍することを期待して、成人式を開催します。

記

- 1 日 時 令和2年1月12日(日) 午前10時から午後0時30分
※受付は午前9時～
- 2 会 場 陸前高田市コミュニティホール
- 3 対 象 平成11年4月2日から平成12年4月1日までの生まれで、
市内中学校出身者及び市内在住者
(令和元年11月17日現在201名)

令和2年陸前高田市成人式開催要項

第1 趣旨

新しく成人を迎える成年男女の輝かしい門出を祝い励ますとともに、社会人としての新たな自覚をもって将来に向けて大きく飛躍することを期待し、成人式を開催する。

第2 主催

陸前高田市、陸前高田市教育委員会

第3 共催

陸前高田市成人式実行委員会（第7で規定する対象者のうちから10名程度により組織する。）

第4 協力

陸前高田市青年団体協議会

第5 日時

令和2年1月12日（日）午前10時から午後0時30分まで

第6 会場

陸前高田市コミュニティホール（高田町字栃ヶ沢210番地3）

第7 対象者

平成11年4月2日から平成12年4月1日の間に生まれた者で、陸前高田市内の中学校を卒業した者及び市内に在住する者とする。ただし、転出などによって市外の中学校を卒業した者から出席の申し出があった場合は、これを妨げないものとする。

第8 記念行事

陸前高田市成人式実行委員会が企画して実施する。

第9 記念品

陸前高田市及び陸前高田市教育委員会は、第7で規定する対象者に対して記念品を贈るものとする。

<参考> タイムテーブル（案）

9：00～ 9：40	受付（対象者、来賓）
9：40～10：00	市民歌練習
10：00～10：40	式典
	次第
	1 黙とう
	2 開式（副市長）
	3 国歌斉唱
	4 新成人紹介（実行委員長）
	5 式辞（市長）
	6 祝辞（来賓）
	7 記念品贈呈（教育長）
	8 成人の誓い（実行委員）
	9 市民歌斉唱
	10 閉式（副市長）
10：45～12：30	記念行事及び記念写真撮影